

おわりに

情報教育研究会では、「図書」「視聴覚」「放送教育」を統合してとらえ、情操面の「豊かな心」を育成する「川崎の情報教育」に取り組んでまいりました。

今年度は、未曾有のコロナ禍の中、緊急事態宣言発令による授業研究会の中止は、残念でしたが、本研究会では、個々に「情報活用能力を育てる授業デザイン」をめざし、授業実践に取り組み、情報共有を図りながら研究・研修を進めてきました。

「令和2年度神奈川県学校放送視聴覚教育研究協議会研究大会川崎大会」は、県内の多くの方々にご参加いただき、開催することができました。急遽、基調講演がZ o o mでのご講義となりました。これも、本研究会の情報共有とI C T技術があったからこそできた大会でした。午後の分科会は、どの会場も大盛況となり、研究協議では活発な意見交流が行われました。

事業では、子どもたちの豊かな心と表現力の向上を願い、40回目となるビデオ映像創作展をはじめ、青少年読書感想文コンクール、読書感想画コンクールにも積極的に取り組んでまいりました。各表彰式は、紙面開催となりましたが、賞状等を受賞者に届けることができました。

令和3年度、「I C T元年」を迎えます。「かわさきG I G Aスクール構想」が全市で一斉にスタートします。子どもたちは、一人一台の端末とアカウントを扱い、学びを深めていきます。各学校では、I C T環境が整えられ、全教員はそれらを適切に扱い、各教科等の学習に効果的な子どもたちへの指導が求められます。今、まさに本研究会への期待が高まり、果たさなければならない役割は重要になっています。急激に変化していく社会に対応し、力強く生きていける子どもたちの育成をめざし、来年度は、全市をリードして、求められる情報や教育技術を提供していきたいと考えています。今後も、「川崎の情報教育推進」という役割を認識し、活発に研究会活動を進めてまいります。

最後になりましたが、本研究会の活動に丁寧なご指導と多大なご支援をいただきました川崎市教育委員会事務局、川崎市総合教育センター、川崎市小学校教育研究会の皆様には厚くお礼申し上げますと共に、今後も引き続き、ご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

川崎市立小学校情報教育研究会
副会長 平 木 薫